



# ペンゴ

2020年7月1日発行  
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL 099-268-2084  
FAX 099-284-5738

E-Mail: [taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp) URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人: 頭島 光 神父 編集委員: 太田勇二郎 岸誠之助 上原敬子 上釜照美

主任司祭 トマス 頭島 光 神父

## 「イエスのみ心から贖いのキリスト」

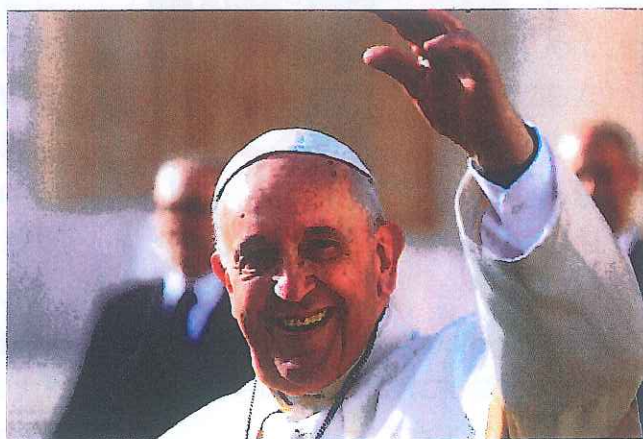
6月から7月に入って庭の木々も梅雨の激しい雨に打たれながらも青々と茂っています。コロナ禍の中にも尚も美しく生き続ける庭木の逞しさを見ていると、気を落とす暇もありません。さて、気を向けるのはコロナウィルスではなく、主のみ心です。神の思いは何か。どこにあるのか。探し求めて祈るうちに贖いの神秘にたどり着きました。神の救いの秘密は今明らかにされたのです。

### ◆神秘のヴェール

このコロナウィルスがどんなに恐ろしいものであっても、人間より恐ろしいものはないと言います。確かに、コロナウィルスは人の中に入ってきて増幅、そのためにすでに世界の感染者は1千万人を超えました。多くの人が僅かこの半年の間に亡くなりました。悲劇は葬式も出せない、死後もバッシングが続く中、ひっそりと隠れるように、息を潜めて生きるしかない、という悲しい現実があるといます。神は、彼らをどうお救いになられるのでしょうか。まったく神秘のヴェールに包まれたようです。

### ◆主のみ心

「魂も体も滅ぼすことのでき音書10:28)。これはイエスの世界で起こる様々な災いも、の終わりにできえ、もっとひどいそれすらも神の前には恐れにろしく危険な目にあおうとも、い」と言われることほど恐ろし



る方を恐れなさい」(マタイ福音書です。言い換えれば、この事件も恐れることはない、世に起こるだろう。しかし、足りないのです。どんなに恐ろしい神様から「私はお前を知らないことはないからです。

### ◆贖いの神秘

「キリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされる」(ローマ3:22)。このパウロの言葉によって明確に救いが明らかになっています。御父なる神は、御独り子イエスをこの世に遣わして、罪から私たち人間を解放するために、十字架にお捧げになったのです。そのうえで罪は完全に断たれました。これが贖いの業、救いの神秘なのです。無償で罪を赦すことができるお方が、この世の中の他に誰がいるでしょう。

### ◆神の忍耐

神は忍耐して待っておられます。私たち人間が神から義とされたことを認め、喜ぶのを。罪の支配は終わり、悪の業はすべて人の心から拭き去られたのです。もはや死によってでも苦しむことがなくなったのです。待っているのは永遠の命、神との深い愛の交わりの内に一つになることだけです。コロナもいつか必ず終わります。私たちも今は忍耐して神の救いの訪れを待ちましょう。そして苦しむすべての人のために祈る続けることです。決して諦めてはいけません。

今月の聖人から

## ベネディクト修道院長 7月11日

ベネディクト会の創立者、聖ベネディクトは480年にイタリアのウンブリアのヌルシアで生まれ、若い時からローマに行って勉強した。20歳の頃、スビアコ山中の洞窟で隠修士の生活を始めたところ、彼の厳しい生活を学び従うために多くの青少年が集まってきた。その後ローマとナポリの間にあるモンテ・カッシーノへ移った。そこにはアポロの神殿が建っていたのが、彼は直ちにそれを壊し、修道院を建てたがそれは最も有名な修道院となった。

彼の聖徳にひかれて集まってきた多くの修道士のために、修道生活の規則を書いたが、これは後世まで修道生活の法典とされ、今日に至るまでその価値を失っていない。

「怠惰は靈魂の敵である。謙遜の第一段階は、ぐずぐずしないで、すぐ従うことである。」



## 「主に仕える務めのため賜物」

ドンボスコ神父

皆さん、

教会として私たちには、様々な賜物が与えられています。まず第一には、「イエスは主である」という信仰の告白と結びつくものだけが聖霊の賜物だ、ということです。教会における賜物は、「イエスは主である」という信仰の告白と常に結び合っていないといけないのです。そして、その告白に生きるのです。それは、主であるイエスキリストに仕える者としての務めに生きることです。そのために私たちには様々な賜物が与えられているのです。このことについて深く考えましょう。

### 様々な奉仕の務め

聖霊の賜物の中にも様々な違いがある、様々な違う賜物が与えられています、みな同じ、唯一の霊によって与えられているのです。そして、教会において、様々な奉仕の務めがありますが、それらが主であるイエスキリストに仕える務めを果たすために与えられているのです。つまり、私たちが聖霊によっていろいろな賜物を与えられているとは、主イエスキリストに奉仕する僕としての務めを与えられているということなのです。で

すからお互いの賜物を比べ合っ  
て誇ったり、嫉んだりすることは  
意味がありません。賜物として  
与えられる務めはいろいろで  
あり、その務めを行ういろい  
ろな働きにおいて、すべての場  
合にすべてのことをなさるのは  
同じ神であります。つまり、そ  
こで発揮される力は神様の力だ、と

いうことです。私たちが自分の力を発揮して何かを  
をするとするよりも、神様の力によって私たちの  
賜物が用いられ、生かされていくのです。

### 教会全体の益のため

私たち一人一人に聖霊の働きが現れ、いろいろな  
賜物が与えられているのは、一人一人がそれを用  
いて自分の人生を充実させていくためではなく  
て、「全体の益」となるためなのです。つまり、聖  
霊の賜物は、個人のために、個人のものとして与  
えられているのではなくて、共に主イエスキリス  
トのもとに集められている兄弟姉妹のためなの  
ですが、時々、教会において、賜物が豊かに与え



られていたのに、それを自分個人のものとして受  
け止め、それを発揮することによって自分を高め、  
自分の人生を充実させようとしていくことがあ  
るかもしれません。自分に与えられている賜物を、  
自分のものとして受け止めてしまい、それを発揮  
することで自分を生かし、充実させようとする、  
また、その賜物を人に認めさせ、尊重させよう  
とする、それぞれがそのようにしていけば、当然そ  
の思いがぶつかり合い、対立が起るのです。しか  
し、聖霊の賜物は、キリストの体である教会全体

の益のために与えられているので  
す。ということは、全体の益のため  
に、自分の賜物を発揮することをや  
めて、他の人に場を譲らなければな  
らないような場面もあるというこ  
とです。私たちの賜物は、主に仕え  
る務めのために与えられているも  
のです。私たちが自分の力で賜物を  
用いて働きをしていくのではなく

て、私たちの賜物が神様によって用いられる時に、  
そこに神様の力が豊かに働き、すべてのことをし  
て下さるのです。このことをしっかりとわきま  
えることによってこそ、私たちそれぞれに与えら  
れている聖霊の賜物は、全体の益となるように生か  
されていくのです。

皆さん、

私たちは、イエスこそ主である、という信仰に生  
きる者です。その信仰にしっかり立ち、それぞれ  
に与えられている様々な賜物を、主に仕える務め  
のために、主がお許し下さる範囲で用いていきま  
しょう。

令和二年 谷山教会 7月の予定と祝日表 (7/1~7/31) 西暦2020年

日時	典礼 と 行事	朗読奉仕	掃除	班会等
7月1日 (水)	19:00 記念 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 召命ミサ			
2日 (木)	6:30 朝ミサ			
3日 (金)	19:00 祝日 聖トマ使徒 初金ミサ			
4日 (土)	19:00 記念 聖エリザベト(ポルトガル) 年間第14主日のミサ		⑧⑨	
5日 (日)	6:30&9:00 ミサ後 年間第14主日 司牧評議会	②③		
6日 (月)	6:30 記念 聖マリア・ゴレッティ乙女殉教者 朝ミサ			
7日 (火)	6:30 朝ミサ			
8日 (水)	19:00 召命ミサ			
9日 (木)	6:30 記念 聖アウグスチノ・チャオ・ロン司祭と同志殉教者 朝ミサ			
10日 (金)	6:30 朝ミサ			
11日 (土)	19:00 記念 聖ベネディクト修道院長 年間第15主日のミサ		⑩	
12日 (日)	6:30&9:00 年間第15主日	④		
13日 (月)	6:30 朝ミサ			
14日 (火)	6:30 朝ミサ			
15日 (水)	19:00 記念 聖ボナベントォラ司教教会博士 召命ミサ			
16日 (木)	6:30 朝ミサ (ひまわり幼稚園お泊り保育 14:00~)			
17日 (金)	6:30 朝ミサ			
18日 (土)	朝ミサ		①	
19日 (日)	6:30&9:00 年間第16主日(贖い主の主日)	⑤⑪		
20日 (月)	6:30 朝ミサ			
21日 (火)	6:30 朝ミサ			
22日 (水)	19:00 祝日 聖マリア・マグダラ 召命ミサ			
23日 (木)	6:30 朝ミサ			㊦ 国民の祝日(海の日)
24日 (金)	6:30 朝ミサ			㊦ 国民の祝日(スポーツの日)
25日 (土)	19:00 祝日 聖ヤコブ使徒 年間第17主日のミサ		②③	
26日 (日)	6:30&9:00 年間第17主日	⑥⑦		
27日 (月)	6:30 朝ミサ			
28日 (火)	6:30 朝ミサ			
29日 (水)	19:00 記念 聖マルタ 召命ミサ (ミサ後 典礼委員会)			
30日 (木)	6:30 朝ミサ			
31日 (金)	6:30 記念 聖イグナチオ(ロヨラ)司祭 朝ミサ			

七月の行事当番は五・十一班

奉納は掃除当番班が行う

ザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	7日、14日、21日、28日
ジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	1日、8日、15日、22日、29日
聖書と教理-I	[毎週(木) 15:00~16:30]	2日、9日、16日、23日、30日
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	9日、16日、23日、30日 (2日はザビエルで7:00)
聖書と教理-II	[毎週(金) 9:00~10:00]	3日、10日、17日、24日、31日